

令和5年6月市議会 環境経済委員会資料

第75号議案 令和5年度長崎市一般会計補正予算（第5号）

目 次	（予算説明書頁）	（資料頁）
長崎市の観光施策の概要について . . . . .	—	2～3
[2款 総務費]		
2・1・22 世界遺産推進費		
1 【補助】世界遺産保存整備事業費		
1 「明治日本の産業革命遺産」 . . . . .	28～29	4～13
<<債務負担行為補正>>		
端島炭坑跡護岸補強工事 . . . . .	7,54～55	4～13
[7款 商工費]		
7・1・4 観光費		
1 観光振興対策費		
1 観光地域づくり推進費 . . . . .	40～41	14～18
2 夜景観光推進費		
1 世界・日本新三大夜景推進費 . . . . .	40～41	19～22
3 イベント共催費負担金		
1 長崎ランタンフェスティバル事業共催費負担金 . . . . .	40～41	23～24
2 長崎帆船まつり事業共催費負担金 . . . . .	40～41	25～26
[10款 教育費]		
10・6・3 文化財保護費		
1 文化財保護推進費		
1 伝統芸能活動費補助金 . . . . .	48～49	27～30

文化観光部  
令和5年6月

# 長崎市の観光施策の概要について

## 長崎観光・MICE戦略（2021～2025）【選ばれる21世紀の交流都市】

### 1 観光・MICE戦略の意義

地域資源に磨きをかけ、「人」の交流を生み出し、質の高いサービスを提供するための創業や既存事業の拡充を図り、雇用創出と所得向上につなげる「交流の産業化」の取組みを加速する。

#### 交流がもたらす経済的効果



### 2 戦略策定の趣旨

観光を取り巻く社会情勢の変化や多様化する訪問客のニーズに対応するため、従来の戦略及び計画を統合するとともに、観光のみならずMICEによる振興を図ることを目的として新たに「長崎市観光・MICE戦略」を策定した。



### 3 観光MICE振興ビジョン【長崎市の将来像】

- 訪問客がまた来たい・もっと過ごしたいと思うまち  
観光のみならず、MICE、スポーツなど多様な目的で訪問客は国内外から訪れている。安全安心・快適な環境の中で、長崎市の魅力を満喫しています。
- 事業者が交流で潤い、成長するまち  
DMOを中心とした民間の主体的な参画により「人」の交流を生み出しています。質の高いサービスにより外貨を稼ぎ、雇用創出と所得の向上につながっています。
- 市民が誇りを持ち、住み続けたいと思うまち  
市民が地元の魅力に満足し、自ら長崎市の魅力を発信しています。観光・MICEの振興によって、市民の生活の質が向上しています。
- 危機管理に強いまち  
感染症、災害、国際情勢などの環境の変化に柔軟に対応しています。

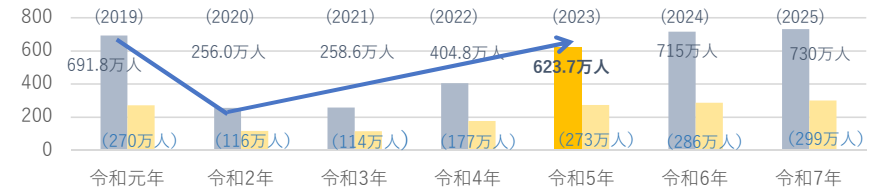
### 4 観光・MICE戦略の位置づけと期間



### 5 目標（視点：旅行消費額の拡大、観光需要の平準化、連携（広域・産学官）、環境変化への柔軟な対応）

KGI（重要目標達成指標：最終的な目標数値）			KPI（重要業績評価指標：プロセスの目標数値）		
指標	基準値 (2019年)	目標値 (2025年)	指標	基準値 (2019年)	目標値 (2025年)
旅行消費額	1,492億円	1,604億円	訪問客数	6,917,800人	7,300,000人
MICE消費額	56億円	194億円	MICE客数	430,000人	1,730,000人

#### 観光客数及び宿泊者数【（ ）うち宿泊者数】



### 6 課題及び基本方針（令和5年度主な事業）

課題 ■顧客ニーズに対応した資源磨きと魅力あるコンテンツの充実が不可欠 ■スポーツや文化・芸術、食を活用した新たな魅力の創出が必要	基本方針A 資源磨きと魅力あるコンテンツの創造
課題 ■環境の変化に応じた安全・安心・快適な滞在環境の整備が必要 ■交通アクセスの充実や周遊を楽しめる環境づくりが必要	基本方針B 安全安心・快適な滞在環境の整備
課題 ■戦略的なマーケティングと効果的なプロモーションが必要 ■DMOにおける関係機関や事業者と連携した魅力発信と誘致活動が必要	基本方針C 戦略的な魅力発信と誘致活動の推進
課題 ■DMOにおける観光まちづくり推進体制の充実が不可欠 ■サービスの高付加価値化・上質化と観光事業者の収益力向上が必要	基本方針D 観光・MICE関連産業の活性化

基本方針A 資源磨きと魅力あるコンテンツの創造	
・文化財保存整備事業（旧英国領事館 旧オルト住宅 マリア園等）	864,308千円
・伝統芸能活動費補助金（長崎くんち・6月補正）	2,500千円
・世界遺産保存整備事業（グラバー園旧三菱第2ドックハウス）	35,500千円
・世界遺産保存整備事業（端島炭坑護岸・6月補正）	96,000千円
・観光施設整備事業（牧島ペーロン体験施設 出島旗竿）	189,500千円
・出島復元整備事業（第IV期整備事業）	10,739千円
・出島運営費（シーボルト来日200周年企画展）	1,984千円
・観光地域づくり推進費（DMO）（サステナブルツーリズムの推進）	11,185千円
・世界・日本新三大夜景推進費（HPの全面改修および多言語化・6月補正）	5,429千円
基本方針B 安全安心・快適な滞在環境の整備	
・総合観光案内所運営費	32,549千円
・観光地域づくり推進費（DMO）（着地情報の発信【長崎市観光マップ作成等】）	17,260千円
基本方針C 戦略的な魅力発信と誘致活動の推進	
・観光地域づくり推進費（DMO）（国内観光客・修学旅行・インバウンド・MICE誘致プロモーション 観光動向調査 観光マスタープラン「暮らしのそばに、ほら世界」の浸透・認知拡大）	177,743千円
・観光地域づくり推進費（DMO）（アニメ映画「きみの色」プロモーション、クルーズ動向調査・6月補正）	29,327千円
・長崎ランタンフェスティバル事業共催費負担金（6月補正）	20,955千円
・長崎帆船まつり事業共催費負担金（6月補正）	17,380千円
基本方針D 観光・MICE関連産業の活性化	
・観光地域づくり推進費（DMO）（長崎市観光まちづくりネットワークの活性化等）	35,226千円

## 7 推進体制

### DMO（観光地域づくり法人）の位置づけ

#### (1) DMOの役割

DMOは、本戦略の観光・MICE振興ビジョンの実現のため、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った公益性の高い観光まちづくりの司令塔として、多様な関係者と協働しながら、次の役割を果たします。

- ① DMOを中心として観光まちづくりを行うことについての多様な関係者の合意形成
- ② 各種データ等の継続的な収集・分析、データ等に基づく明確なコンセプトに基づいた中期的な事業計画の策定、KPIの設定、PDCAサイクルの確立
- ③ 地域の魅力向上に資する観光資源の磨き上げや観光案内機能の充実などワンストップの受入態勢の整備
- ④ 関係者が実施する観光関連事業とDMO事業計画との整合性に関する調整・仕組みづくり、プロモーション

#### (2) 長崎市との役割分担

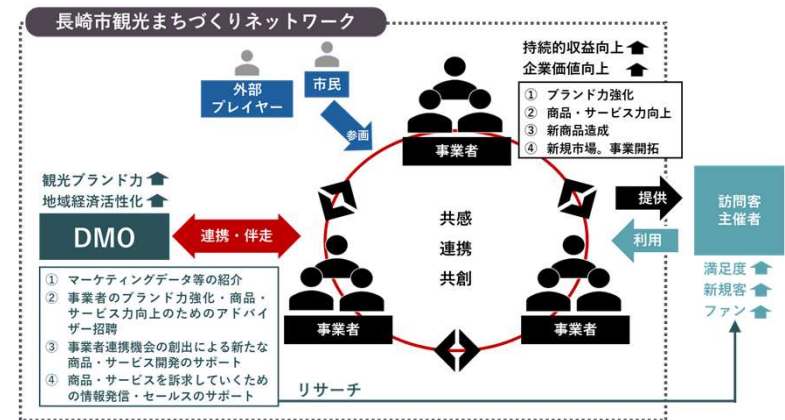
長崎市とDMOは、次のとおり役割分担し、観光まちづくりを推進します。  
また、長崎市は、DMOが観光まちづくりの司令塔としてその機能を最大限発揮できるよう、DMOの活動を支援します。

長崎市（観光まちづくりの政策立案と基盤整備）	
<b>1 『観光・MICE戦略』策定・検証</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 戦略の策定</li> <li>■ 戦略の基本方針及び基本施策に基づく事業の実施と検証</li> </ul>
<b>2 地域資源（ハード）を活かした魅力づくり</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 観光・MICE施設の整備等による魅力向上</li> <li>■ 市有の観光施設等の整備・維持管理</li> <li>■ 出島メッセ長崎の整備・維持管理</li> <li>■ 市有文化財等の保存・活用 など</li> </ul>
<b>3 ストレスフリーの環境整備・支援</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ユニバーサルデザインの促進</li> <li>■ 公衆無線LAN環境、総合観光案内所の設備等の整備</li> <li>■ 観光案内板や説明板の設置と維持管理</li> </ul>
<b>4 DMO活動支援</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 財政支援</li> <li>■ 庁内関係課（商工部、水産農林部等）との連携</li> </ul>

DMO（観光まちづくりのマーケティング・マネジメント）	
<b>1 データ収集・分析に基づく戦略策定・検証</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 訪問客に関するデータ収集・分析</li> <li>■ 分析結果の提供・公開</li> <li>■ 分析結果に基づく『長崎市版DMO事業計画』策定</li> <li>■ 長崎観光ブランド立案（シティプロモーションとの整合）</li> </ul>
<b>2 地域資源（ソフト）を活かした魅力づくりと消費拡大</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 魅力あるコンテンツ造成（食・体験型・ユニークベニュー・長崎さるく・遊学券等）</li> <li>■ 関係事業者育成及び受注促進</li> </ul>
<b>3 ワンストップ誘致プロモーション・受入</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 訪問客（インバウンド・国内観光・MICE）の誘致、情報発信</li> <li>■ コンシェルジュ機能・受入強化（総合観光案内所等）</li> </ul>
<b>4 域内マネジメント</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 域内事業者との連携</li> </ul>

## 8 観光地域づくり推進費（DMO）の主な内訳

基本方針A 資源磨きと魅力あるコンテンツの創造	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地域づくり推進費（DMO）（サステナブルツーリズムの推進）</li> <li>令和4年度で実施した「長崎市版サステナブルツーリズム」推進事業の2年目として、戦略設計に基づき、企画、ブランディング、モデル検証、販売計画、テストマーケティングを実施し、訪問客に観光マスターブランド「暮らしのそばに、ほら世界。」の世界観を感じてもらえるような高付加価値体験や、地域課題の解決をビジネスチャンスにつなげる仕組みを構築する。</li> </ul>	11,185千円
基本方針B 安全安心・快適な滞在環境の整備	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地域づくり推進費（DMO）（着地情報の発信）</li> <li>①長崎市観光マップの作成</li> <li>②AIチャットボット利用</li> </ul>	17,260千円 15,389千円 1,871千円
基本方針C 戦略的な魅力発信と誘致活動の推進	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地域づくり推進費（DMO）（国内観光客・修学旅行・インバウンド・MICE誘致プロモーション 観光動向調査 観光マスターブランド「暮らしのそばに、ほら世界」の浸透・認知拡大</li> <li>①観光動向調査</li> <li>②観光マスターブランドの浸透・認知拡大</li> <li>③長崎市観光公式サイトの運用</li> <li>④国内誘客プロモーション</li> <li>⑤インバウンドプロモーション</li> <li>⑥MICE誘致プロモーション</li> <li>⑦修学旅行誘致プロモーション</li> </ul>	177,743千円 29,136千円 11,140千円 30,131千円 58,581千円 17,282千円 18,048千円 13,425千円
基本方針D 観光・MICE関連産業の活性化	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地域づくり推進費（DMO）（長崎市観光まちづくりネットワークの活性化等）</li> <li>①長崎市観光まちづくりネットワークの活性化</li> <li>②消費拡大に向けたクチコミ強化</li> <li>③観光マスターブランドの浸透・認知拡大（対象：市内事業者・市民）</li> <li>④まちMICEの取組み推進（MICE参加者の消費拡大等）</li> </ul>	35,226千円 13,336千円 8,449千円 10,587千円 2,854千円



DMOと事業者（地域）、また、事業者（地域）同士が連携し、商品やサービスの魅力向上や高付加価値化、ビジネスチャンスの創出などに持続的に取り組むことで、変化する市場ニーズに対応していく。

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
28～29	2 総務費	1 総務管理費	22 世界遺産 推進費	1-1	【補助】世界遺産保存整備事業費 「明治日本の産業革命遺産」	千円 96,000
債務負担行為					期間	限度額 (設定額)
ページ	事項					
7 54～55	端島炭坑跡護岸補強工事				令和6年度	千円 144,000

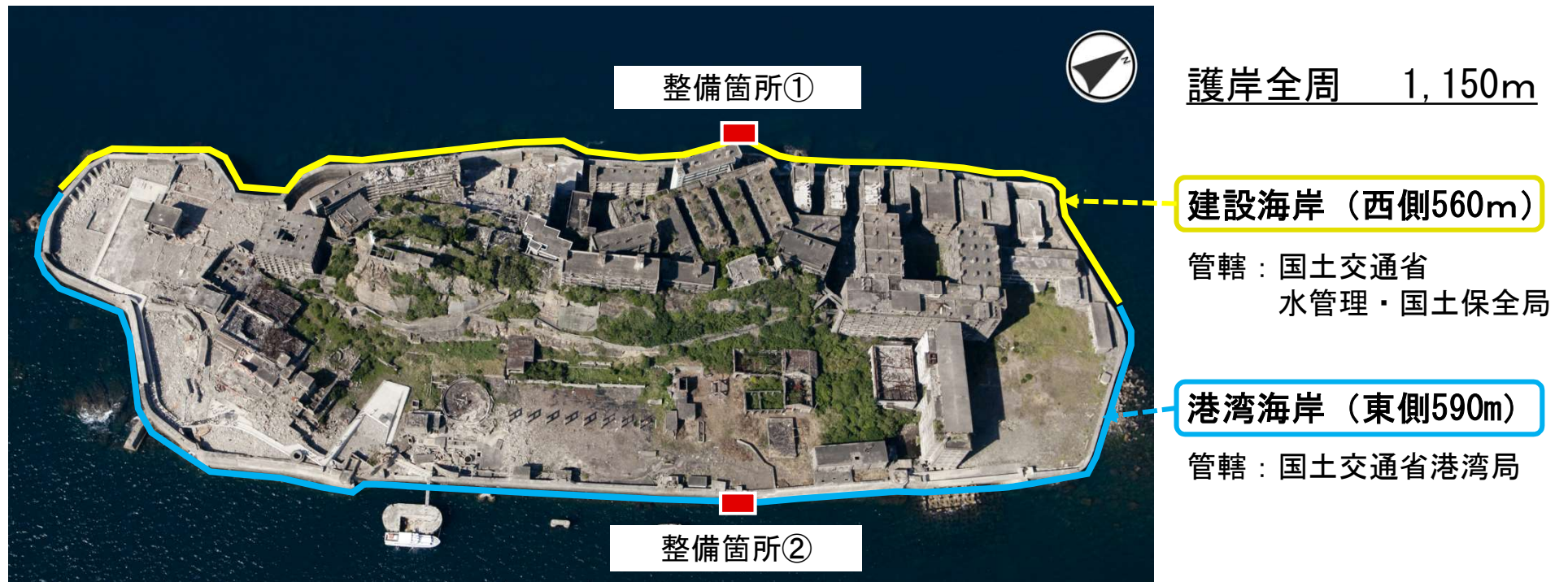
## 1 事業目的

世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である「端島炭坑」について、平成27年7月の世界遺産登録時にユネスコ世界遺産委員会から出された勧告に従い平成30年に長崎市が策定した「修復・公開活用計画」に基づき、明治期以降に行われた島の拡張の痕跡である石積護岸及び劣化したコンクリート護岸の防護工事を実施し、島内の遺構を保護する。  
(令和5年度～6年度の2箇年工事のため債務負担行為を設定)

## 2 事業計画

現況調査【令和4年度完了】  
 基本設計【令和3年度完了】  
 詳細設計【令和4～5年度実施中】  
 整備工事  
 ・ 期間：令和5年度以降  
 ・ 総延長：約1,150m





### 3 事業概要

- 緊急的に整備を行う必要がある護岸のうち、建設海岸・港湾海岸のそれぞれから劣化度の高い1か所ずつ計2か所を選定し、護岸機能の向上を図り、史跡を保護するための護岸整備工事を実施する。
- 整備にあたっては、社会資本整備総合交付金を活用する。

(1) 事業期間 令和5年度～6年度

(2) 事業費 2億4千万円

	令和5年度：	9,600万円	(40%)
	令和6年度：	1億4,400万円	(60%)

(3) 整備延長 20m (建設海岸 西側10m) + (港湾海岸 東側10m)

#### 4 護岸整備箇所の選定

60に分けた護岸の区間ごとに、護岸劣化状況を評価した。そのうち、港湾海岸・建設海岸のそれぞれから劣化度が高い区間を選定した。

#### 保全整備劣化度の判定基準

ランク	劣化度	状態	
A	劣化度が1番高い	B1の状況に当てはまり、かつ複数の劣化が認められる箇所	
B	劣化度が2番目に高い	B 1	深さが3.0m以上の堤体基礎部の空洞化が認められ、堤体基礎部の空洞化により堤体背後の地盤の沈下が引き起こされた可能性がある箇所。
		B 2	深さ1.0m～3.0mの堤体基礎部の空洞が認められた箇所。
		B 3	深さ1.0m未満の堤体基礎部の空洞が認められた箇所。
C	劣化度が3番目に高い	堤体背後が越波などにより、洗掘されている。この洗掘により背後地盤は沈下傾向にあり、被覆コンクリート下端が浮いた状態である。	
D	劣化度が4番目に高い	上記に該当しない箇所	

整備箇所①  
ランクA



— 明治期の石積護岸が確認されている護岸

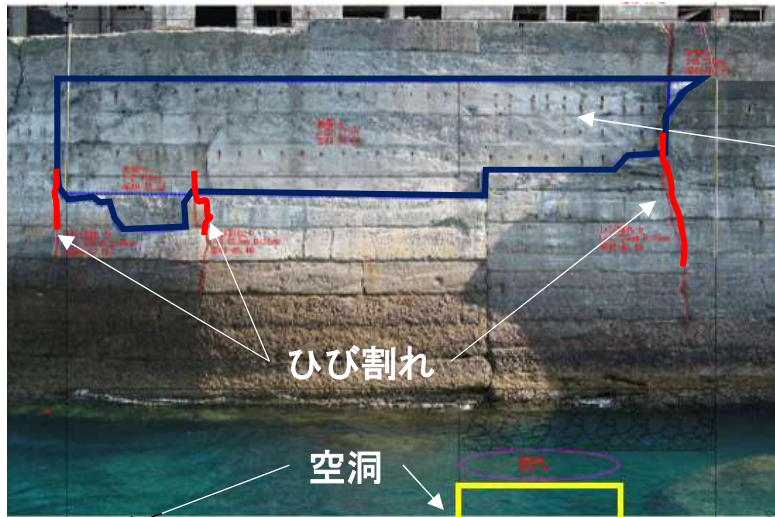
整備箇所②  
ランクB1

## 5-1 整備箇所①の現状

- ・堤体に貫通ひび割れが発生し、補強された腹付けコンクリートが崩落している。
- ・護岸基礎部に大きな空洞がある。



### 護岸の劣化現況(海側)



腹付け  
コンクリート  
の崩落部分

ひび割れ

空洞

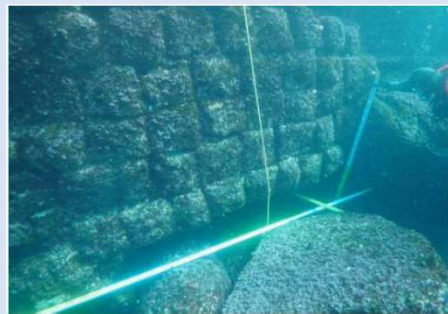
海中



整備箇所① 10m

### 空洞②

長さ : 4.0m  
高さ : 1.0m  
奥行 : 5.0m



### 空洞①

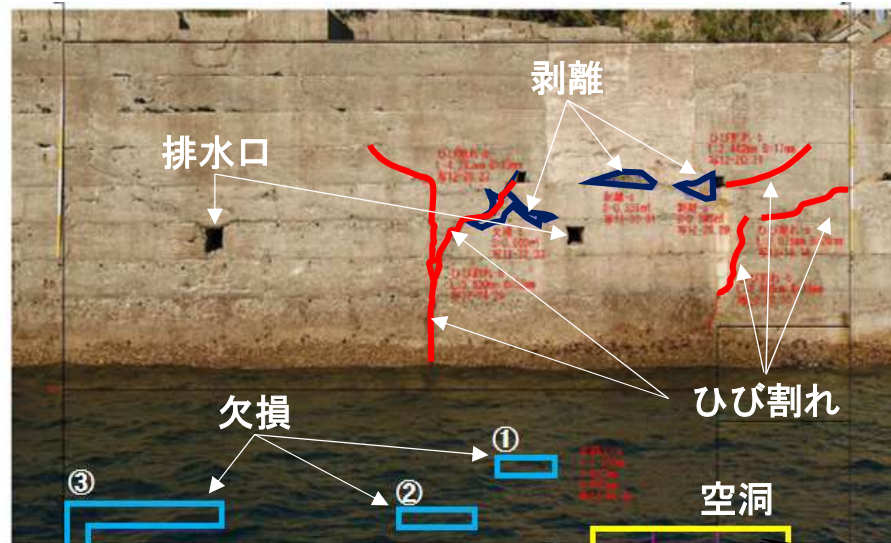
長さ : 5.0m  
高さ : 2.3m  
奥行 : 3.2m



## 5-2 整備箇所②の現状

- ・護岸基礎部の2つの空洞が奥でつながり、最深部で5mに達している。

### 護岸の劣化現況(海側)



海中



整備箇所② 10m

空洞①  
幅 : 1.8m  
高さ : 2.0m  
奥行 : 3.0m



空洞②

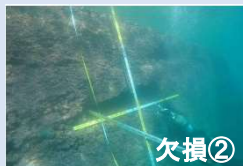
幅 : 1.5m  
高さ : 2.0m  
奥行 : 5.0m



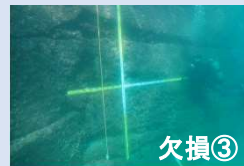
欠損① 幅 : 1.5m ・ 高さ : 0.5m ・ 奥行 : 0.65m  
欠損② 幅 : 2m ・ 高さ : 0.4m ・ 奥行 : 0.6m  
欠損③ 幅 : 6m ・ 高さ : 0.6m ・ 奥行 : 0.3m



欠損①



欠損②

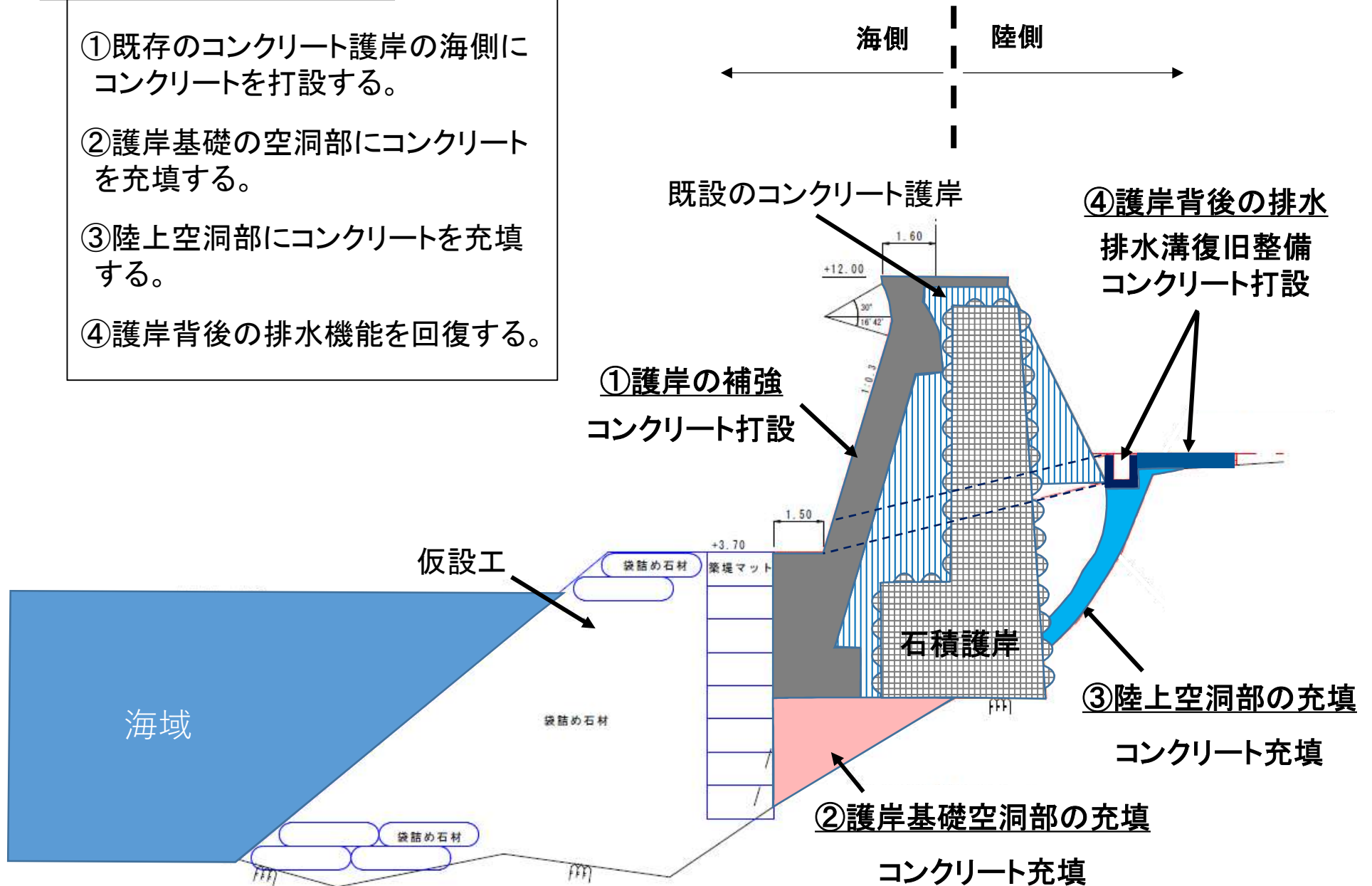


欠損③

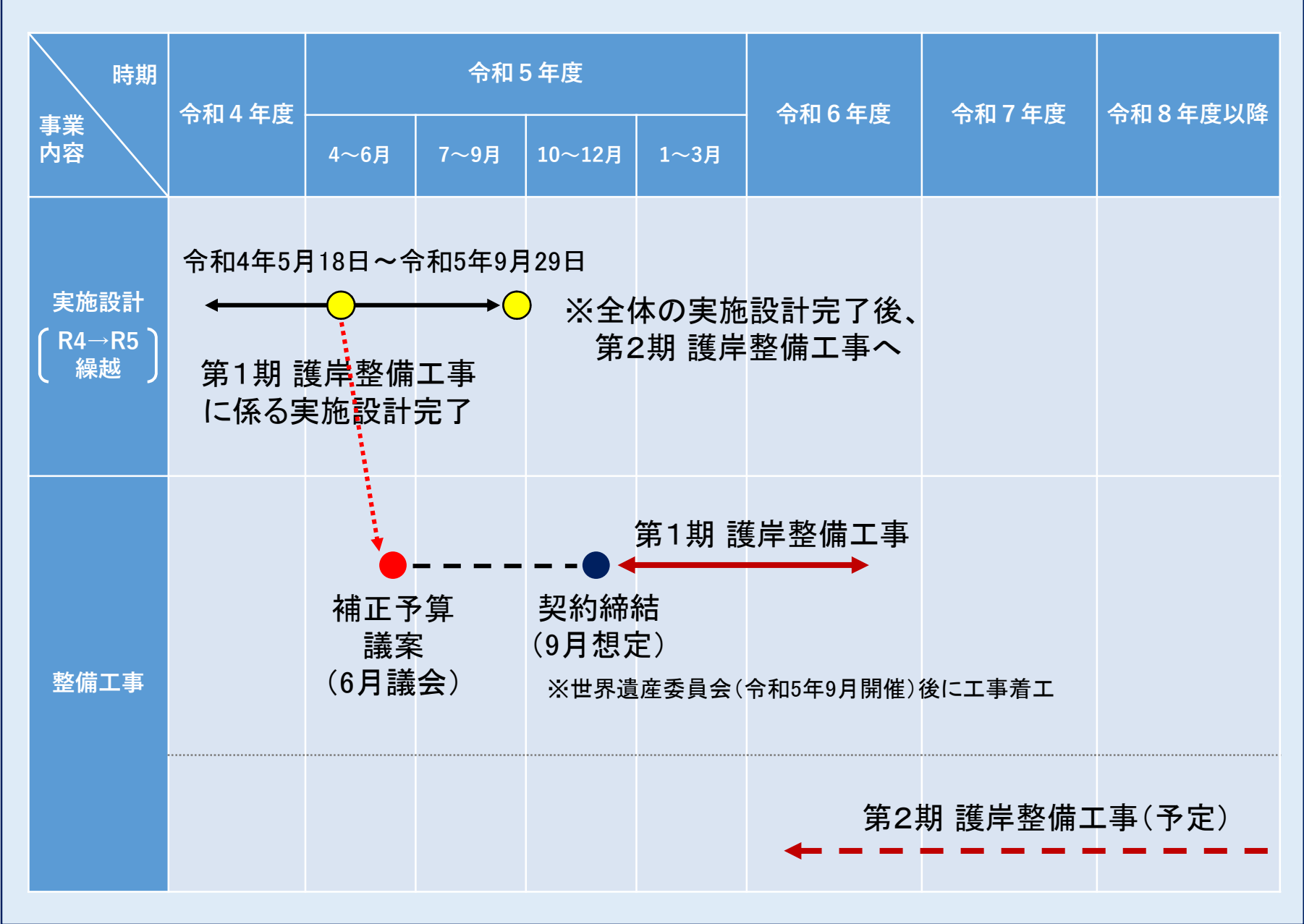


## 6 護岸補強断面イメージ

- ①既存のコンクリート護岸の海側にコンクリートを打設する。
- ②護岸基礎の空洞部にコンクリートを充填する。
- ③陸上空洞部にコンクリートを充填する。
- ④護岸背後の排水機能を回復する。



# 7 スケジュール



## 8 財源内訳

### 令和5年度

区分	事業費	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	千円 35,500	千円 ※1 17,750	千円 -	千円 ※3 15,900	千円 -	千円 1,850
補正額	96,000	※2 32,000	-	※4 64,000	-	-
補正後の額	131,500	49,750	-	79,900	-	1,850

### 令和6年度(債務負担行為)

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 144,000	千円 ※2 48,000	千円 -	千円 ※4 96,000	千円 -	千円 -

### 総事業費(第1期 護岸整備工事)

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 240,000	千円 80,000	千円 -	千円 160,000	千円 -	千円 -

※1 デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 充当率1/2

※2 社会資本整備総合交付金 充当率1/3

※3 一般補助施設整備等事業債 充当率90%(交付税措置率30%)

※4 過疎対策事業債 充当率100%(交付税措置率70%)

## 端島炭坑整備計画について

端島炭坑は、「整備基本計画」に基づき、国や県の補助を受けて整備を行うこととしている。整備計画では、端島炭坑の構成要素である「護岸遺構」「擁壁遺構」「生産施設遺構」「居住施設遺構」を対象として、平成30年度(2018)から30年間にわたって優先順位をつけて整備を行うこととしており、全体事業費約110億円を想定しているが、進捗状況や財政状況、研究成果等を踏まえ10年毎(次回、令和9年(2027))に見直す。

**【事業費内訳】** 事業期間 平成30(2018)～令和29(2047)年度 (30年間)  
 総事業費 110億3,000万円

項目	全体事業費	H30～R9 事業費	H30～R9事業の進捗状況 (R4年度末時点)
ア.護岸遺構の整備	40.2億円	12.5億円	実績額:84,032千円 (調査が完了し、R5に設計完了予定) 進捗率(事業費ベース):7%、
イ.擁壁遺構の整備	7.5億円	0.05億円	実績額:3,099千円(変位計測まで完了) 進捗率(事業費ベース):62%
ウ.生産施設遺構の整備	38.7億円	19.4億円	実績額:250,635千円 (第3竖坑捲座整備がR5完了予定) 進捗率(事業費ベース):13%
エ.見学通路等の整備	6.8億円	2.3億円	実績額:47,798千円(工事用通路整備) 進捗率(事業費ベース):21%
オ.居住施設遺構の維持 のための整備	17.1億円	4.3億円	実績額:0円(3号棟調査をR7以降開始予定) 進捗率(事業費ベース):0%
合計	110.3億円	39.1億円	実績額:385,564千円 進捗率(事業費ベース):10%

# 平成30年度から令和9年度(10年間)の生産施設・居住施設等の整備事業

平成30年度から令和9年度の継続費を設定し、優先順位をつけて整備事業を行う(護岸整備費は、継続費に含まない)。

【事業費内訳】 継続費設定期間：平成30(2018)～令和9(2027)年度 (10年間)  
 総事業費：26億4,170万円

項目	事業費	整備方針
イ.擁壁の整備	804万円	
ウ.生産施設の整備 (A・B・C・D)	19億6,831万円	「生産施設遺構」は、産業システムを理解するうえで重要な遺構であり、世界遺産の要素の維持を優先し、A→B→C→Dの順番で整備していく。
エ.見学通路等の整備	2億3,060万円	
オ.居住施設の整備 (E)	4億3,475万円	「居住施設遺構」は、端島の景観形成に貢献し、劣化度が低い建築物が補修の延命効果を見込むことから、Eの3号棟から整備する。
合計	26億4,170万円	

## 【整備予定箇所】



予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
40~41	7 商工費	1 商工費	4 観光費	1-1	観光地域づくり推進費	29,327 千円

## 1. アニメーション映画『きみの色』とタイアップしたプロモーション

### (1) 概要

長崎を舞台のモデルにしたアニメーション映画『きみの色』の今秋公開を契機に、映画の世界観と長崎の観光を結び付けるプロモーションを展開し、新たな訪問客を呼び込み、地域経済の活性化を図るもの。

#### 作品概要

◆映画『きみの色』(映画公開日:2023年秋)

・ストーリー:人の心が「色」で見える高校生の少女・トツ子は、街の片隅にある古書店で出会った美少女と、音楽好きの少年とバンドを組むことに。

・監督:山田尚子

・脚本:吉田玲子

・音楽:牛尾憲輔

・企画・プロデュース:STORY inc.

・制作・プロデュース:サイエンスSARU



©2023「きみの色」製作委員会

### (2) 事業費

委託料(プロモーション委託料) 25,000千円 (委託先:一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会)

### (3) 実施内容

長崎市観光マスターブランドを中核とする誘致戦略に基づいて、映画を見た人が長崎市を訪れたいくなるようなプロモーションを行い、訪れた人が舞台のモデルになったスポットなどを回遊し、充実した滞在時間を過ごすように取り組む。

#### ア プロモーション動画の作成 5,000千円

大都市圏などの市外向けに映画の世界観と長崎観光を結び付けるプロモーション動画を作成するとともに、市民向けには、長崎市観光マスターブランドの理解促進のための動画を作成する。

- 誘客用プロモーション動画の作成 4,200千円
  - ・映画の映像や音声等を使用(予定)して、長崎観光と世界観を結び付ける30秒の動画の作成
  - ・デジタルサイネージやSNSなど多面的に使用できる動画及び映画公開終了後も使用できる動画を作成
- 長崎市観光マスターブランド理解促進動画の作成 800千円

## 1. アニメーション映画『きみの色』とタイアップしたプロモーション

- イ シネマスクリーン等を活用したプロモーション 17,500千円  
首都圏など大都市圏を中心に、映画の上映前の時間に誘客用プロモーション動画を放映する。
  - 実施時期：上映日から4週間程度を予定
  - 実施地域：首都圏など大都市圏のPR効果が高い映画館及び市内映画館 20館程度を予定

- ウ マップ・特集ホームページの作成、来訪意向調査の実施 2,500千円  
長崎県観光連盟などと連携し、舞台地マップや特集ホームページの作成、SNSキャンペーンの実施などを行う。また、プロモーション効果の調査・分析のため来訪意向調査を行う。
  - 舞台地マップ・特集ホームページ作成 500千円
  - SNSキャンペーン 1,000千円
  - 来訪意向調査 1,000千円

### 長崎市観光マスターブランド

長崎市の持つ普遍的な価値を象徴するスローガンとロゴマークを策定。これらを柱とし、一貫性を持って、長崎市への訪問意欲を喚起するプロモーションを実施していくもの。

暮らしのそばに、ほら世界。



#### スローガン/「暮らしのそばに、ほら世界。」

長崎市にもともとある文化のすぐそばに世界の文物が混じり合った建物や習慣があり、地理的要因だけにとどまらない、あらゆる距離の近さがある街を表している。

#### ロゴマーク

上段：長崎港を囲む三方の山々と、その斜面にあふれる街並み  
中段：特殊な地形から生まれた、和・華・蘭の融合した独自の文化  
下段：世界を受け入れてきた港や海

#### 観光誘客プロモーションフレーズ

長崎で、会いましょう。

一貫性・持続性を持ったプロモーションを実現させる象徴的フレーズ

### (4) スケジュール

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
作品公開までのスケジュール		★ 全国公開 作品のキャスト、ビジュアル、映像順次公開		
連携企画のスケジュール	連携企画締切		連携企画の展開(予定)	

## 2. 訪日外国人観光客（クルーズ客船乗客）動向調査・分析

### (1) 概要

新型コロナウイルス感染症の影響により寄港が中止となっていた国際クルーズ客船の受入が、令和5年3月より再開されたことに伴い、改めて訪問客のニーズを客観的に把握する必要があるため、クルーズ客船の乗客（訪日外国人観光客）を対象とする動向調査を行い、今後の戦略的な訪問客の誘致・受入を推進し、地域経済の活性化につなげるもの。

### (2) 事業費

委託料(観光動向調査・分析委託料) 4,327千円（委託先：一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会）

### (3) 事業内容

長崎港に入港する国際クルーズ客船の乗客を対象とした動向調査を実施し、長崎市における行動、消費額、満足度等の各種データの収集・分析を行い、分析した結果について今年度実施の他事業への活用、来年度の事業計画案への反映を目指す。調査内容については、当初予算事業で実施するクルーズ客船乗客以外の訪日外国人観光客に対する動向調査と質問項目を合わせることで、クルーズ客船乗客とその他のインバウンドにおける消費活動等の動向の比較分析を可能にする。

#### 調査概要

- ① 調査方法  
専門調査員5名による聞き取り調査
- ② 目標サンプル数・調査実施回数  
600 サンプル：100 サンプル×6回（隻）  
※クルーズ船の種別ごとに調査  
（アジア系/欧米豪系、スタンダード/ラグジュアリー等）
- ③ 調査場所  
長崎港松が枝国際ターミナル

#### 調査内容（案）

- ① 性別
- ② 年齢
- ③ 国籍
- ④ 日本への訪問回数
- ⑤ 長崎市への訪問回数
- ⑥ 同伴者
- ⑦ 長崎市を含むクルーズを選んだ理由
- ⑧ 市内での訪問場所
- ⑨ 長崎市で食べたもの
- ⑩ 長崎市で買った土産
- ⑪ 長崎市内での一人あたり消費額(使った金額+使う予定の金額)
- ⑫ 旅行前に得た長崎市の旅行情報の中で役に立ったもの
- ⑬ 長崎市滞在中に旅行のための情報を得るのに役立ったもの
- ⑭ 長崎市観光の満足度
- ⑮ 長崎市観光の推奨度



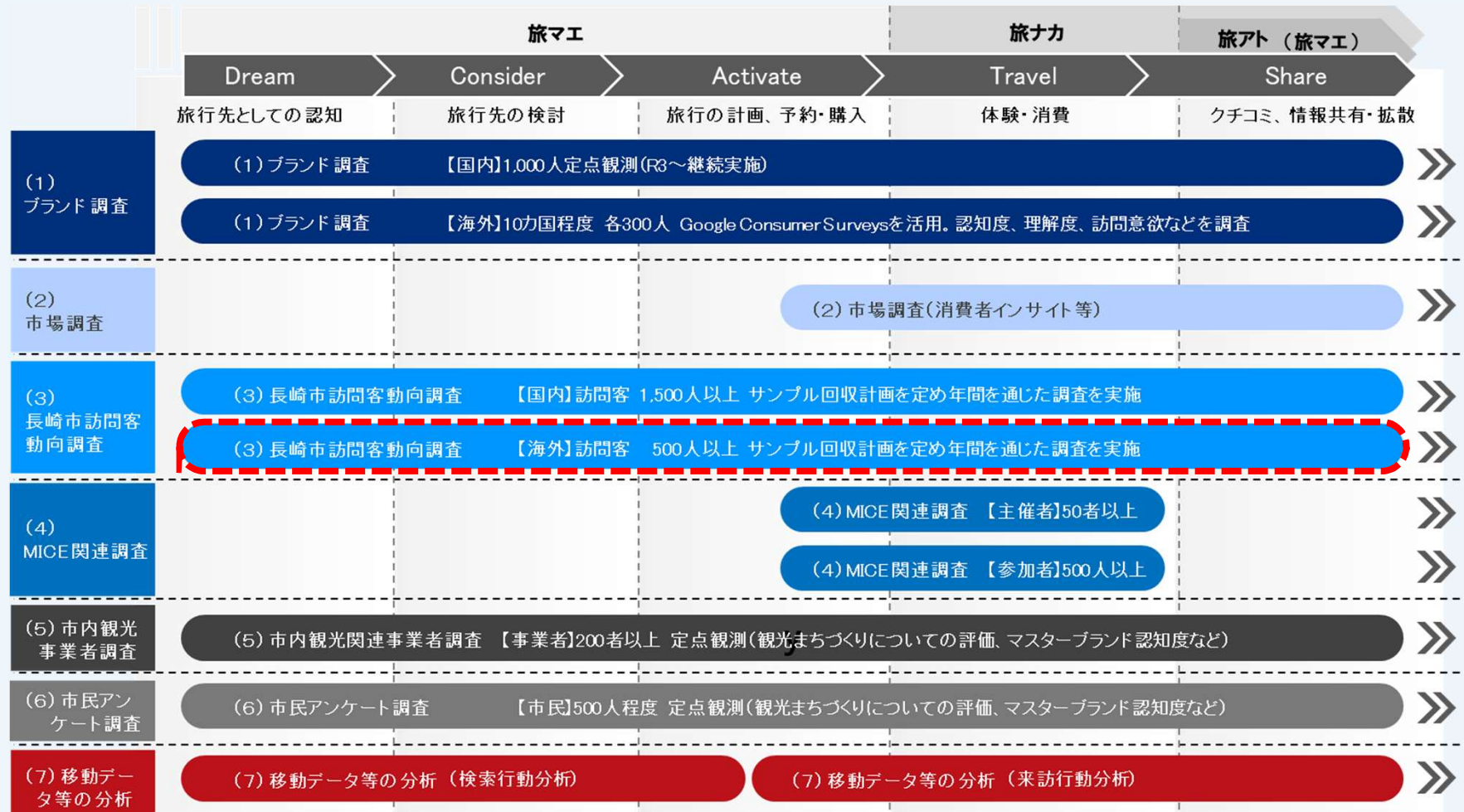
## 2. 訪日外国人観光客（クルーズ客船乗客）動向調査・分析

※参考（当初予算事業）

【観光動向調査】 事業費：29,136千円

マーケティング活動の中で発生する課題（企画・実行・効果検証）に対し、観光客、MICE参加者・主催者、市民、事業者を対象とした調査やビッグデータの収集など、様々な手法を用いて幅広く調査・分析を行う。

包括的マーケティングリサーチとして、以下(1)～(7)の調査実施を計画しており、クルーズ客船乗客以外の訪日外国人観光客に対する動向調査についても実施する。



観光マーケティングレポートの発行による共有

### 3 財源内訳

事業費		財源内訳				
		国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	千円 293,926	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -	千円 293,926
補正額	千円 29,327	千円 29,327	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -
補正後の額	千円 323,253	千円 29,327	千円 -	千円 -	千円 -	千円 293,926

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(単独)

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
40～41	7 商工費	1 商工費	4 観光費	2-1	世界・日本新三大夜景推進費	5,429 <sup>千円</sup>

## 1 現状(と課題)

更なる宿泊滞在型観光の推進を図るためには、長崎の夜景の魅力を国内外へ発信することが重要であるが、現在、長崎市公式観光サイト「travel nagasaki」で掲載される「夜景観光」のページでは、主にライトアップされた施設情報が掲載されており、回遊を促すまでの仕組みとなっておらず、また、閲覧回数が他のコンテンツに比べても高くない。

そのため、よりホームページを活用できるよう、長崎の夜景をより魅力的に発信するページへ全面的に刷新するとともに、内容も滞在時間の延長や回遊による消費行動を促す仕掛けを充実させ、宿泊につながる観光客を増やし、観光消費額の増加につなげていく必要がある。

あわせて、情報発信が日本語での表記しかないため、多言語化を行い、国外の観光客やインバウンド誘致を促進する必要がある。

## 2 対応方針

コロナ禍からの回復期を見据え、国外の観光客への対応やインバウンド誘致を推進していくとともに、宿泊につながる観光客を増やし、観光消費額の増加につなげる。

また、回遊を促す機能の実装や夜景自体のPRを行うことでの成果指標として、「夜景観賞」を目的とする観光客の割合を以下のとおり設定する。

指標(単位)	「夜景観賞」を目的とする観光客の割合				
年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目 標 値(%)	21.3	24.4	27.5	30.6	33.6

### 3 事業概要

(1) 夜景パンフレット「長崎ノ夜景」のweb化(予算額 5,000千円)

#### ア 業務内容

(ア) 内容:長崎市公式観光サイト「travel nagasaki」の「夜景観光」のページを全面改修し、令和3年度に作成したパンフレット「長崎ノ夜景」をベースに、既存のライトアップ施設情報に加え、滞在時間の延長や回遊による消費行動を促す仕掛けとして、散策コースの掲載や飲食情報の連携が取れるなど、回遊や消費行動につながるホームページとする。

#### 【主なりリニューアルの内容】

- ・ライトアップスポットの追加
- ・飲食情報との連携
- ・散策コースの掲載

(イ) 言語:日本語および英語

(ウ) 履行期間(予定):令和5年8月～令和6年2月

「長崎ノ夜景」パンフレット(画像は2021年に作成したもの)



(2) webデータ多言語化作成委託(予算額 429千円)

#### ア 業務内容

(ア) 内容:世界新三大夜景および日本新三大夜景に再認定された長崎の夜景を国外へPRするため、(1)でリニューアルした「長崎ノ夜景」の情報を多言語化する。

(イ) 言語:韓国語、中国語(簡体字および繁体字)

(ウ) 履行期間(予定):令和6年1月～令和6年3月

#### 4 予算額

5,429千円 (3(1)+3(2))

#### 5 スケジュール

令和5年度	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
夜景パンフレット「長崎ノ夜景」のweb化		→		
webデータ多言語化作成委託				→

#### 6 財源内訳

事業費		財源内訳				
		国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	千円 4,764	千円 ※1 1,755	千円 -	千円 -	千円 -	千円 3,009
補正額	千円 5,429	千円 ※2 5,429	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -
補正後の額	千円 10,193	千円 7,184	千円 -	千円 -	千円 -	千円 3,009

※1 デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 充当率1/2

※2 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(単独)

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
40~41	7 商工費	1 商工費	4 観光費	3-1	長崎ランタンフェスティバル 事業共催費負担金	20,955 千円

## 1 概要

新型コロナウイルス感染症拡大後、4年ぶりに従来の規模で開催する2024長崎ランタンフェスティバルについて、コロナ禍からの復活をPRするため、新規オブジェの製作や新規体験型イベントを創出することでイベントの魅力向上を図り、合わせて開催期間を通常の15日間から、2日間の延長を行い17日間とすることで集客の拡大を図り、地域経済の活性化を図るもの。

## 2 対応方針

イベント実施による経済波及効果を拡大するため、ランタン装飾の充実、新たな体験型イベントの創出や開催期間を2日間延長することで、過去最高の106万人の集客を目指す。

## 3 事業概要

(1) イベント名 2024長崎ランタンフェスティバル

(2) 実施主体

長崎ランタンフェスティバル実行委員会  
(事務局:長崎市観光交流推進室)

(3) 開催時期

【当初】令和6年2月10日(土)~2月24日(土)  
【補正後】令和6年2月9日(金)~2月25日(日)  
※旧暦の元旦(1月1日)から元宵節(1月15日)にあたるのが、2月10日(土)~2月24日(土)

(4) 実施内容

新規オブジェ製作 14,000千円  
(メインオブジェ1体、サブ・小型オブジェ各2体)  
新規体験型イベントの創出 5,500千円  
(例:スカイランタン、中華衣装レンタル等)  
開催期間延長(15日間→17日間) 1,455千円  
(警備費、電気代、イベント費等)

(5) 経費内訳(実行委員会の収支予算(案))

単位:千円

収入		支出	
1 共催費負担金	134,510	1 全体装飾費	89,800
長崎市	130,510	既存分	75,800
当初予算分	109,555	新規分	14,000
今回補正分	20,955	2 イベント費	29,180
長崎商工会議所	3,000	既存分	23,280
長崎国際観光コンベンション協会	1,000	新規分	5,500
		期間延長	400
		3 事業費	2,650
2 協賛金等	19,000	4 諸費	34,978
3 繰越金	503	既存分	33,923
4 雑収入	2,595	期間延長	1,055
合計	156,608	合計	156,608

#### 4 財源内訳

	事業費	財源内訳				
		国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	千円 109,555	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -	千円 109,555
補正額	千円 20,955	千円 20,955	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -
補正後の額	千円 130,510	千円 20,955	千円 -	千円 -	千円 -	千円 109,555

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(単独)

#### 5 参考資料

##### 過去10年の集客数の推移

年度	集客数	経済波及効果	開催期間(土・日・祝の日数)
令和5年度	目標106万人	-	2024/2/9~2/25 17日間(8)
令和4年度	53万人	43億円	2023/1/22~2/5 15日間(5)
令和3年度	中止	-	2022/2/1~2/15 15日間(5)
令和2年度	中止	-	2021/2/12~2/26 15日間(5)
令和元年度	56万人	56億円	2020/1/24~2/9 17日間(6)
平成30年度	98万人	92億円	2019/2/5~2/19 15日間(5)
平成29年度	106万人	104億円	2018/2/16~3/4 17日間(6)
平成28年度	94万人	94億円	2017/1/27~2/11 16日間(5)
平成27年度	90万人	88億円	2016/2/8 ~2/22 15日間(5)
平成26年度	92万人	90億円	2015/2/19~3/5 15日間(4)
平成25年度	87万人	73億円	2014/1/31~2/14 15日間(5)



予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
40~41	7 商工費	1 商工費	4 観光費	3-2	長崎帆船まつり事業 共催費負担金	17,380 千円

### 1 概要

長崎帆船まつりを民間イベント「Lovefes」(主催:株式会社テレビ長崎・株式会社エフエム長崎)と連携して開催することで、長崎の魅力の一つである港に賑わいを創出し、地域経済の活性化を図るもの。

### 2 対応方針

長崎帆船まつりを民間イベントと連携した新たな形で開催し、帆船や海を活用したイベントを実施し、出店やステージイベントなどは民間イベントに役割分担を行うことで、相乗効果を生み出し、集客力のあるイベントとして実施する。

### 3 事業概要

- (1) イベント名 2023長崎帆船まつり
- (2) 実施主体 長崎帆船まつり実行委員会(事務局:長崎市観光交流推進室)
- (3) 開催期間 令和5年11月4日(土)~5日(日) ※3日(金・祝)はライトアップを予定
- (4) 会場 長崎港、長崎水辺の森公園
- (5) 参加予定帆船 大型帆船、観光丸、みらいへ
- (6) 内容 帆船一般公開、体験クルーズ、イルミネーション・ライトアップなど
- (7) 経費内訳(実行委員会の収支予算(案)) 単位:千円

収入		支出	
長崎市負担金	17,380	帆船招聘費	5,000
体験クルーズ売上	1,000	船舶代理店料	5,280
雑収入	-	台船使用料	1,500
		会場使用負担金	3,300
		会場運営費	1,000
		広報費	1,500
		事務費	800
合計	18,380	合計	18,380



帆船一般公開

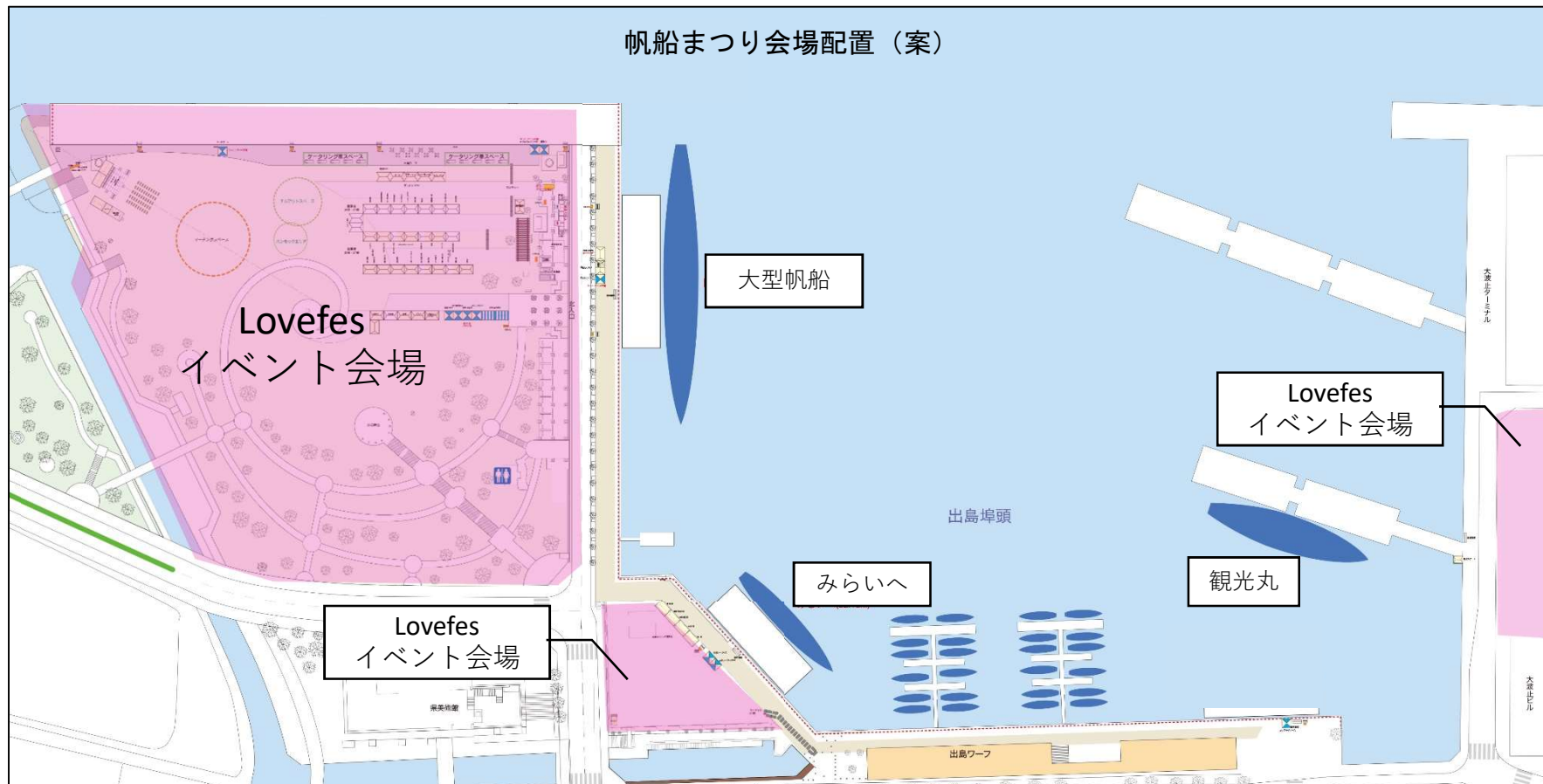


体験クルーズ

#### 4 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金 ※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 17,380	千円 17,380	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(単独)



予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
48～49	10 教育費	6 社会教育費	3 文化財 保護費	1-1	伝統芸能活動費補助金	2,500 千円

### 1 現状(と課題)

長崎くんちや郷くんち等で使用する備品(山車、太鼓、衣装等)が経年劣化等により著しく損傷しているため、奉納を前に修繕もしくは新調する必要がある。

### 2 対応方針

備品の修繕等に要する費用の一部を補助することにより、伝統芸能の保存・継承活動を通じた地域の連帯感の高揚を図り、自治意識の向上及び地域の活性化につなげる。

### 3 事業概要

一般財団法人自治総合センターが行う宝くじの社会貢献広報事業の一環として交付されるコミュニティ助成事業助成金を活用し、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、地域文化への支援や活力ある地域づくり等について、費用の一部を助成する。そのうち、文化財課においては、長崎の伝統芸能である長崎くんちや、その他郷土芸能活動を実施する団体が使用する備品の整備や改修等に要する費用の一部を助成するもの。

#### 4 事業内容

- (1) 実施団体 西濱町自治会
- (2) 総事業費 3,740千円
- (3) 補助額 2,500千円
- (4) 事業主負担金 1,240千円
- (5) 実施内容 長崎くんち等で使用する龍船の車輪と軸の修理

※補助額は、1件につき10万円単位(10万円未満を切り捨て)で、下限100万円、上限250万円

【龍船】



【主な修理箇所】



前輪



後輪

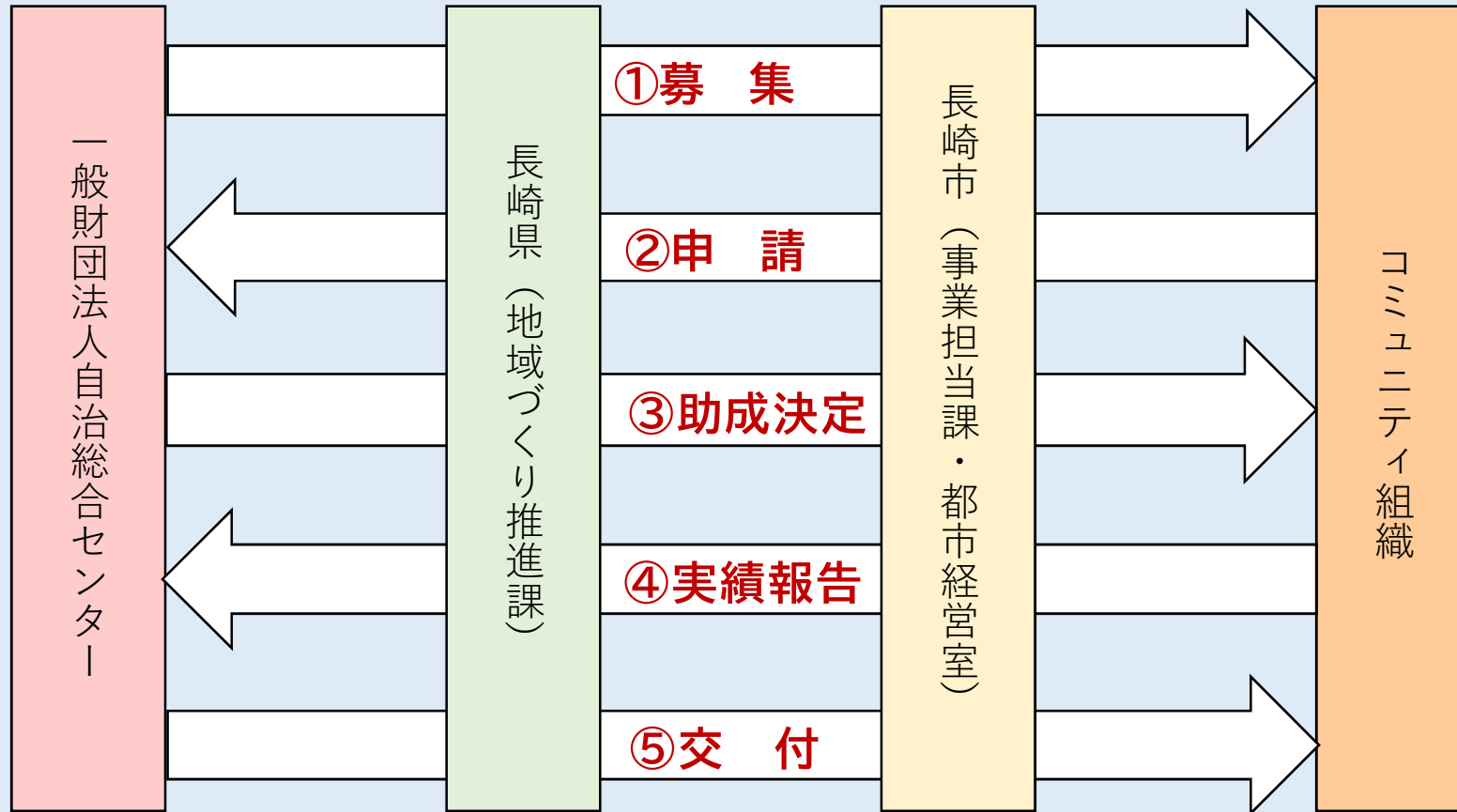
#### 5 財源内訳

補助対象	総事業費 ①	予算計上額 ②	財源内訳			事業主 負担額 ①-②
			地方債	その他※	一般財源	
西濱町自治会	千円 3,740	千円 2,500	千円 -	千円 2,500	千円 -	千円 1,240

※ コミュニティ助成事業助成金(種別:一般コミュニティ助成事業)

## 6 参考

### (1) 令和5年度コミュニティ助成事業の流れ



(2) 令和5年度助成予定一覧(長崎市) ※文化財課担当分以外

助成種別	実施団体	実施内容	助成予定額
一般コミュニティ助成事業	伊良林平自治会	和太鼓他コミュニティ活動備品の整備	2,500千円
	小江原ニュータウン合歓の木会	コミュニティ活動備品の整備	1,600千円

(3) 一般コミュニティ助成事業 過去3年間の助成実績(長崎市全体)

年度	実施団体	事業内容	助成金額
R2	本石灰町自治会	長崎くんちで使用する大太鼓の整備	2,200千円
	昭和町水源自治会	音響設備他及びコミュニティ活動備品の整備	2,400千円
	柿泊町ペーロン保存会	ペーロン船等の整備	2,400千円
	西浦上東部地区自治連合会	太鼓の整備	2,500千円
	平山台2丁目自治会	コミュニティ活動備品の整備	1,700千円
R3	元船町自治会	法被、提灯等の購入	2,200千円
	銀屋町自治会	鯨太鼓の鯨の軽量化及び損傷箇所の修繕	2,500千円
	八幡町自治会	提灯及び山伏道中等の衣装の購入	2,500千円
	榎津通り自治会	川船の提灯及び大太鼓、鉦太鼓の購入	1,600千円
	賑町自治会	恵美須船、宝恵船、豊来船の修理	2,500千円
	下西山町自治会	エアコン他コミュニティ活動備品の整備	2,500千円
R4	平山町自治会	大名行列の衣装の購入及び太鼓の修理	1,400千円
	万才町自治会	幟旗、幔幕、衣装、用心籠の台車の購入	1,800千円
	新大工町自治会	曳壇尻の夫婦鹿の製作及び衣装の購入	2,500千円
	鍛冶屋通り町内会	宝船の修理	2,500千円
	芒塚第二自治会	ペーロン船の新造及び附属備品の購入	2,400千円
	中里町自治会	放送設備の整備	1,100千円